

案内

日本家族看護学会 第28回学術集会 (Web開催)

日時：ライブ配信 10月2日(土)～3日(日)
オンデマンド配信 9月20日(月)～10月20日(水)

テーマ：勇気をもって、新たな知の冒険へ
プログラム：大会長講演「家族看護学の研究方法——勇気をもって新たな知の冒険へ」山本則子(東京大学大学院医学系研究科高齢在宅長期ケア看護学分野教授)／特別講演「新たな感染症の時代の看取りと悲嘆」島蘭進(上智大学グリーンケア研究所所長、東京大学名誉教授)／教育講演 I 「ビッグデータで見えてくる家族の健康」康永秀生(東京大学大学院医学系研究科臨床疫学・経済学分野教授)／2「看護実践の事例研究の学術性」家高洋(東北医科薬科大学教養教育センター教授)／シンポジウム I 「26th - 27th - 28th つながるシンポジウム——With Corona時代の家族看護」／II 「家族看護学研究的冒険——研究方法の更なる多様性に向けて」／III 「家族看護実践の冒険——新たな実践の枠組みを創る」

後期参加登録期間：10月15日(金)まで
参加費：[後期参加登録] 会員 1万円, 非会員 1万1000円, 学生(大学院生, 看護師資格をもつ研修学校生等除く) 2000円
参加登録方法：下記 Web サイトの参加 WEB 登録フォームより
問い合わせ先：[学術集会運営担当] ブロコムインターナショナル
〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFTビル東館 9階
TEL: 03-5520-8821
FAX: 03-5520-8820
E-mail: jarfn28@procom-i.jp
URL: <https://procomu.jp/jarfn2021/index.html>

案内

第23回日本救急看護学会 学術集会 (Web開催) (合同開催) 第9回日本看護理工学会 学術集会

日時：[ライブ配信] 10月22日(金)～23日(土)
[オンデマンド配信] 10月22日(金)～11月22日(月)
開催形式：オンライン開催

テーマ：救急看護の継承と革新——変化の時代に挑戦する看護と理工学の連携
参加費：会員 1万円, 非会員 1万2000円, 学生 3000円
※学生は看護基礎教育を受けている者に限る。学生証をアップロードする
参加登録締切：11月22日(月) 正午
申込方法：下記 Web サイトの参加登録フォームより
問い合わせ先：[運営事務局] プロコムインターナショナル 札幌支店
〒060-0042 札幌市中央区大通西 11丁目4番地 大通藤井ビル5階 503
TEL: 011-272-5234
FAX: 011-272-5235
E-mail: jaen23@procom-i.jp
URL: <https://procomu.jp/jaen2021/index.html>

案内

第23回看護国際フォーラム (Web開催)

日時：10月30日(土) 13:00～16:00
開催形式：オンラインによるWEB開催 (Zoom Webinar)
テーマ：コロナ禍における看護職のメンタルサポート
プログラム：LIVE 講演「コロナ禍における看護職のメンタルサポート」萱間真美(聖路加国際大学大学院看護学研究科精神看護学教授)／動画講演「ニューヨークの看護師が経験した不安と抑うつ——COVIDパンデミック第一波における患者ケアから」Christine Kovner(ニューヨーク大学校看護学老年看護学教授)／ほか
参加費：無料
定員：500名(先着順)
申込方法：下記 Web サイトの参加登録フォームより
申込締切：10月22日(金)
問い合わせ先：大分県立看護科学大学国際フォーラム担当
〒870-1201 大分県大分市廻栖野 2944-9
TEL: 097-586-4300
E-mail: forum2021@oita-nhs.ac.jp
URL: <https://www.oita-nhs.ac.jp/site/generalpublic/23rd-forum.html>

案内

第26回聖路加看護学会 学術大会 (Web開催)

日時：11月1日～11月30日
開催形式：オンライン開催
テーマ：意思決定と健康と Well-being
プログラム：大会長講演「意思決定と健康と Well-Being」中山和弘(聖路加国際大学大学院看護学研究科看護情報学分野教授)／教育講演「患者中心の意思決定を支えるツール——ディシジョンエイドの開発・活用・普及・教育」大坂和可子(慶應義塾大学)／特別講演「看護実践における健康生成論とストレス対処力概念SOCの応用」戸ヶ里泰典(放送大学)／シンポジウム「ディシジョンエイド開発の現状、普及への課題」青木頼子(富山大学)、藤田美保(昭和大学横浜市北部病院、聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程)、江藤亜矢子(小山嵩夫クリニック)、青木裕見(聖路加国際大学大学院看護学研究科精神看護学分野)／ミニ講座「ディシジョンエイドを作ってみよう! 作成の基本からQ & Aまで」大坂和可子、青木裕見、米倉佑貴(聖路加国際大学)、中山和弘
参加費：[筆頭発表者](会員以外は筆頭者にはなれない) 会員 5000円, 学生会員 3000円, [共同発表者](大会参加) 会員 5000円, 非会員 1万1000円, 学生会員 3000円, 非会員学生 8000円, (大会参加なし) 非会員, 非会員学生とも 5000円(発表登録料が必要), [発表なし](大会参加) 会員 5000円, 非会員 6000円, 学生会員 3000円, 学生非会員 3000円
参加登録方法：下記参加登録ページより
参加登録ページ: <https://online-conference.jp/slnr26/register>
問い合わせ先：[事務局] 聖路加国際大学大学院看護学研究科看護情報学分野
〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1
TEL: 03-3543-6391(代表)
E-mail: slnr26@slcn.ac.jp
URL: <https://www.slnr26.net/home>

案内

第41回日本看護科学学会 学術集会 (Web開催)

日時：[LIVE 配信] 12月4日(土)～5日(日)
[オンデマンド配信] 11月19日(金)～12月28日(火)

開催形式：Web開催

テーマ：共創による新たな看護科学の可能性

プログラム：会長講演「共創による新たな看護科学の可能性」百瀬由美子（愛知県立大学看護学部）／特別講演「道具を創り使って活動を診る」才藤栄一（藤田医科大学）／教育講演1「価値の共創からあらたな看護支援システムを構築する」水流聡子（東京大学総長室）／2「エスノグラフィーを中心とするフィールドワークの概念と手法」磯野真穂（医療人類学者）／3「抽象概念を測定する」中山和弘（聖路加国際大学大学院看護学研究科）／シンポジウム1「災害看護への分野横断的研究アプローチ」寶馨（京都大学大学院総合生命学館）、飯島祥彦（藤田医科大学医学部生命倫理学教授）、牛島佳代（愛知県立大学看護学部）、小原真理子（清泉女学院大学看護学部）／2「新型コロナウイルス感染症時代における外国籍住民の保健医療課題」大谷かおり（中部大学保健看護学科）、沢田貴志（神奈川県労働者医療生協港町診療所）、呉小玉（京都光華女子大学健康科学部看護学科）、坂本真理子（愛知医科大学看護学部）／3 日本心理学会・日本看護科学学会共同企画シンポジウム（理事会企画プログラム）「看護科学と心理学の共創による新たな視点——最新のコミュニケーション研究をめぐって」／教育セミナー1「COVID-19と患者安全」長尾能雅（名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部）／2「感性デザインによる情緒的支援と評価」岡崎章（拓殖大学工学研究科情報・デザイン工学専攻）／3「オンライン授業のベストプラクティス」前田留美（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科看護キャリアパスウエイ教育研究センター）／4「実践知を現象学的に理解する」村上靖彦（大阪大学人間科学研究科）／ワークショップ1「現場を支える臨床倫理コンサルテーション」明石恵子（名古屋市立大学大学院看護学研究科）、松村優子（京都市立病院看護部管理室）／2「災害対応教育プログラム 減災教育ゲームの体験」新美綾子（日本福祉大学減災連携・支援機構長、教授）、村川弘城（日本福祉大学全学教育センター）、佐藤大介（日本福祉大学全学教育センター）／3「自尊心回復グループ認知行動療法プログラム」國方弘子（香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科、大学院保健医療学研究科看護学専攻）／ほか
問い合わせ先：[運営事務局] オフィス・テイクワン

〒451-0075 名古屋市西区康生通2-26
TEL：052-508-8510
FAX：052-508-8540
E-mail：jans41@cs-oto.com
URL：https://www.cs-oto.com/jans41/index.html

案内

第10回日本公衆衛生看護学会 学術集会10周年記念大会

（Web開催）

6th International Conference of Global Network of Public Health Nursing 合同開催

日時：2022年1月8日（土）～9日（日）
[オンデマンド配信] 2022年1月4日（火）～1月31日（月）

開催形式：オンライン開催

テーマ：平時が大事！ リスクに備え「生」を
衛るポジティブヘルス

プログラム：第10回学術集会長講演【合同】「災害対策における保健師の力」松本珠実（大阪市健康局健康推進部保健主幹）／6th GNPHN Presidential Speech（学術集会長講演）【合同】「公衆衛生看護技術の開発と実装」岡本玲子（大阪大学大学院公衆衛生看護学教室教授）／Keynote Speech（基調講演）【合同】「保健師：だれひとり取り残されない地域を見守る専門職」中村安秀（日本WHO協会理事長、大阪大学名誉教授、甲南女子大学看護リハビリテーション学部教授）／【合同】「疫学研究成果を保健活動に活かす——生活習慣病予防、エコチル調査など」磯博康（大阪大学大学院公衆衛生学教室教授、日本公衆衛生学会理事長）／シンポジウム【合同】「各国のCOVID-19対策における保健師活動の実践と展望」山本祐子（大阪府健康医療部健康医療総務課参事）、Mary Koslap-Petraco（ニューヨーク、ストーニーブルック大学臨床准教授）／Allison Roderick（南オーストラリア伝染病対策本部COVID-19管理者、感染専門看護師）／Dosoon Park（ゴンジンプライマリヘルスケア保健診療所、保健診療員）、Stella Iwuagwu（NPO健康権利センター事務局長）／招へい講演【JAPHN】「貧困・虐待…最底辺のリアルと向き合って」石井光太（ノンフィクション作家）／特別講演【JAPHN】「日本公衆衛生看護学会の成長と今後の展望」麻原きよみ（聖路加国際大学大学院看護学研究科教授）／特別講演【JAPHN】

「保健所におけるCOVID-19に関わる統括保健師の活動」山崎初美（神戸市健康局保健企画担当担当局長）／シンポジウム【JAPHN】「高齢者自身が活躍し支え合う地域づくりとフレイル予防の今」河野あゆみ（大阪市立大学大学院看護学研究科在宅看護学領域教授）、田中明美（元生駒市次長、厚生労働省老健局地域づくり推進室室長補佐）、安斉智子（堺市健康福祉局生活福祉部地域共生推進課参事）／Invited Lecture【GNPHN】「精神障害者の脱施設化後時代における政策とプログラム：アメリカの経験」Phyllis Solomon（ペンシルバニア大学教授）／「10代母親のACE（逆境的小児期体験）が（育児・子どもの発達に）及ぼす影響の理解」大川聡子（関西医科大学看護学部准教授）、水粉茉莉香（門真市健康増進課保健師）／「日本の保健師によるニーズに基づく地域ヘルスケアシステムの開発」吉岡京子（国立保健医療科学院生涯健康研究部上席主任研究官）／「地域保健と学校保健の連携——そこに壁のない体制をめざして」中村富美子（静岡県沼津市立大岡中学校養護教諭）／ほか
参加登録期間：国内・国際学会共通（事前）10月29日（金）まで、（一般）10月30日（土）～2022年1月18日（火）
参加費：[国内学会（JAPHN）]（事前）会員1万円、非会員1万1000円、学生3000円、ワークショップ1万円、（一般）会員1万1000円、非会員1万2000円、学生3000円
[国際学会（GNPHN）]（事前）会員2万円、非会員3万円、途上国1万円、学生8000円、（一般）会員2万5000円、非会員3万5000円、途上国1万2000円、学生1万円
※学生は大学院生を除く
問い合わせ先：[運営事務局] 日本旅行大阪法人営業統括部MICE営業部
〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1
山口玄ビル6階
TEL：06-4256-3869
FAX：06-6204-1763
E-Mail：10th_japhn@nta.co.jp
URL：http://web.apollon.nta.co.jp/10ja-6gnphn/index.html
※掲載している情報は2021年9月10日時点の内容です。学会開催の有無など、最新の情報は主催元にご確認ください。